

令和元年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S13-05-01		
施設名	教育センター				
所在地	荒川三丁目49番1号				
部課名	教育委員会事務局教育センター				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
	建築	1970年	国・都	区債	一般財源
	増改築①	1996年	303,300		
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	昭和45年4月3日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	平成9年7月1日	職員数	34	11	
構造	RC造	階層	地上4階		
面積	敷地面積	6,766.09㎡			
	延床面積	1560.01㎡ (4530.36㎡のうち)			
設置目的・経緯	荒川区における教育の充実及び振興を図るため				
関連部署	地域文化スポーツ部生涯学習課				
根拠法令等 設置条例	荒川区立教育センター条例				
駐車場の状況	1台	バリアフリー	● エレベーター	● だれでもトイレ	
駐輪場の状況	14台	対応状況	○ 点字ブロック	● スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	施設管理は生涯学習センターの指定管理者が行っている。	期間	-	から	
				-	まで	
事業内容	教育相談、適応指導教室運営、科学教育等					
対象者	幼児、小中学生及び保護者等					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後5時				
	休日	土曜日、日曜日、祝日、年末年始				
施設基本データ等		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(見込み)
	適応指導教室入室者数(人)	27	20	21	20	25
	科学教育センター参加者数(人)	70	71	74	40	40
	教育相談件数(件)	17,402	20,486	11,069	11,788	20,000
に指定 等 管理 費理						
備考						

III 財務諸表

(単位:千円)

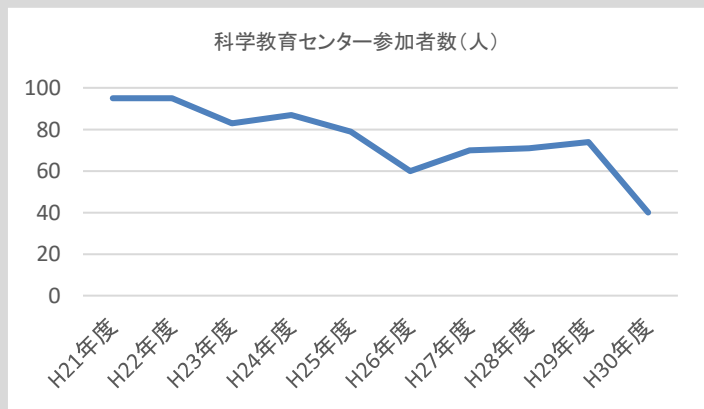
行政コスト計算書	勘定科目	H29年度	H30年度	差額	勘定科目	H29年度	H30年度	差額
	給与関係費	95,817	78,294	▲ 17,523	地方税等	0	0	0
	物件費	14,589	17,003	2,414	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	2,088	4,969	2,881
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	2,201	2,300	99	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	2,088	4,969	2,881
	賞与・退職給与引当金繰入額	2,575	1,700	▲ 875	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 113,094	▲ 94,328	18,766
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	115,182	99,297	▲ 15,885	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 113,094	▲ 94,328	18,766
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 113,094	▲ 94,328	18,766	
貸借対照表	勘定科目	H29年度	H30年度	差額	勘定科目	H29年度	H30年度	差額
	流動資産				流動負債	1,909	1,700	▲ 209
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	1,909	1,700	▲ 209
	有形固定資産	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
	土地	0	0	0	固定負債	8,615	5,656	▲ 2,959
	建物	113,811	113,811	0	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 113,811	▲ 113,811	0	退職給与引当金	8,615	5,656	▲ 2,959
	工作物等	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	負債の部合計	10,524	7,356	▲ 3,168
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	▲ 10,524	▲ 7,356	3,168
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	▲ 10,524	▲ 7,356	3,168	
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	0	0	0	
資産の部合計	0	0	0					

備考 相談員等の人件費が行政費用の大半を占めているが、このうちの一部が都から行政収入として補助を受けている。

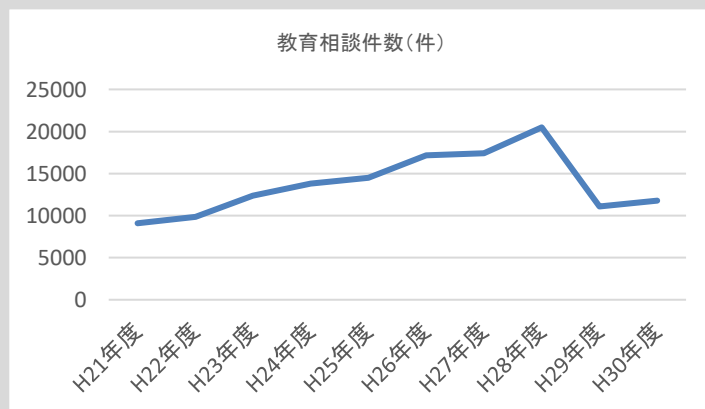
	指標	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	100.0	100.0	100.0	
	1㎡当たりコスト(円)	-	108,482	73,834	63,644	
	相談一件当たりのコスト(円)	-	8,261	10,406	8,423	
	相談員1人当たりの相談件数(件)	946	1,280	1,176	1,176	
	指定管理料(千円)	-	7,628	-	-	
	※生涯学習センターとの複合施設の為、教育センター負担分として支出					
備考	平成29、30年度は相談員の欠員があったため、相談件数が減少した。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
	教育相談件数	目標値 17,150	14,200	14,000	20,000	20,000
		実績値 14,197	17,402	20,486	11,788	20,000
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ 民営化 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	個々に応じた教育相談、適応指導教室等の実施					
現状・課題	○ 老朽化した設備等の計画的な修繕等が必要である。 ○ 適応指導教室では、通室児童・生徒の実態に応じた指導を通じて、在籍校への早期復帰に向けた取組が必要である。					
課題に対する現時点での考え	○ 生涯学習センター・教育センター複合施設の管理業務は生涯学習センターが担当しているため、生涯学習センターで検討された計画に併せ、施設の整備等を実施していく。 ○ 心理専門員が学校を訪問し、児童・生徒の情報交換を行うとともに、実態に応じてきめ細かく指導する。また校外学習等を通じて、学校への復帰に向けた工夫を実施していく。					
議会、利用者等からの意見						



若干の増減があるものの一定の参加申し込みがある。



平成29、30年度は相談員に欠員が生じたため相談件数が減少している。